

いなべ市行政改革推進委員会 会議概要

日時・場所	平成25年2月5日 午後2時から いなべ市役所員弁庁舎第7会議室
出席者	委員：8名出席（会長：丸山康人、副会長：東川薫、伊藤隆、児玉正光、三輪了啓、矢野清久、稲葉淑乃、近藤節子） 説明者側：8名（企画部長、福祉部長、農村整備課長、総務課長、長寿介護課長、包括支援センター長、包括支援センター特命監、政策課長） 事務局：2名（政策課）
会議次第	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 会長あいさつ 4. 審議 答申に対する進捗について 5. 意見交換会 6. その他
配付資料	1. 事項書 2. 行政改革推進委員会資料
審議の概要	審議事項（以下●印は会長、△副会長◎印は委員発言、○印は事務局発言） △：報告内容から順調に進んでいることが推察できるが、高齢化率や関心の度合いに合った進め方をされると良いと思います。 ◎四季の家の取り組みが23年度に藤原地区、平成24年度に員弁地区、今年の2月1日に大安地区でも始まっており、その立ち上げにサロンリーダーの人が中心にかかわっていただいております。 ◎四季の家の取り組みが北勢地区では、施設が無いので始められない状況です。 高齢者同士のコミュニケーションは出来ているが少し若い世代の人との交流を増やすとよいと思います。 ○場所については一度検討してみます。 △今回の答申では人的なネットワーク構築について議論を進めてきたが、次の段階で施設や交通手段などの問題が出てくることになると思います。 ●災害時要援護者の問題では個人情報問題が課題となっている ◎坂本地区では、対象者の約半分が手を上げていただいで、独自に名簿を作成し、誰が支援するかまで準備は出来ている。 ◎手を上げてても誰が支援してくれるのかとか不安を持つ高齢者も多くいるので、誰が支援してくれるのかと言った受け皿づくりまでしっかりしたアドバイスをしてほしい。 ◎ 消火器の販売や火災報知器の販売で高額の請求をされる被害が全国で発生している

ので高齢者に対して啓蒙をお願いしたい。

◎ 既得権化していると説明のあったサロン活動に対する市補助金を、送迎時の保険代に利用できるような有効な補助金に見直しを検討してください。